令和５年１２月

枡記念病院

災害ボランティア通信

第一回枡記念病院
災害病院ボランティア登録研修が開催されました

令和５年１０月２８日（土）に第一回枡記念病院災害病院ボランティア登録研修会が開催されました。
近年、地震や集中豪雨などの自然災害・洪水が頻繁に発生しています。当枡記念病院でも院内訓練や外部訓練を定期的に実施・参加しており、日々有事に備えています。
当院が被災した場合や医療圏内が被害に遭われた場合に災害拠点病院である当院は、活動の中心としての任務を果たす必要があります。
長期的な支援や活動をする中で、当院職員だけではマンパワー不足となり、十分な体制を継続するのが厳しい状況となりえます。
そこで当院職員と地域を守るため、災害時に特化したボランティアメンバーの募集を令和元年より開始しました。
しかし、新興感染症拡大の影響により活動制限を余儀なくされてしまいました。今年に入り、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことで活動を再開いたしました。
各市町村や看護学校・専門学校を中心に募集の協力をいただき、9名の参加希望者を募ることができ、6名の登録希望者が第一回登録研修会に参加となりました。メンバーの中には、災害に興味を持つ学生や将来看護師を目指す学生、地域のために活動を希望する方々がおり、大変心強い印象を持ちました。登録が完了したボランティアメンバーは、院内で開催されるBLS（心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置）研修会や、その他病院ならではの講習会に参加することができます。今年度の募集は終了していますが、令和6年度も募集予定ですので少しでもご興味がありましたら災害病院ボランティア事務局までご連絡ください。

～登録研修会当日～

①ボランティア募集の経緯
（阿久津看護部長）
②災害時における病院の対応
（石川災害救急医療部長）
③病院ボランティアの心得
（佐藤看護係長）
④災害時の病院対応及びボランティア活動について（安部放射線室係長）
⑤参集方法及びボランティア保険について（土屋総務主任）
⑥自己紹介
⑦病院内見学（渡辺事務長）

発行元：医療法人辰星会枡記念病院災害ボランティア事務局